

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

幅広い分野が学べるという事、英語もしっかり勉強できるという事から、この学部
の受験を決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

3年の5月まで、部活動をしていたので、今まで、勉強に真剣に向き合う時間を取ってきませんでした。
1学期は、とにかく、基礎を重点的に勉強していました。古典単語も、英単語
も、英文法も、1週間にやる範囲を決めて、徹底して、覚えていきました。

[夏休み]

夏休みは、勉強時間がたくさんあるので、朝10時から塾へ行き、夜まで、勉強して
いました。夏休みまでの基礎勉強と共に、センターの過去問も解いて、国語と英語は基
礎を固めました。日本史は、覚えきれていない所ばかりだったので、過去問よりも、時代の
流れをつかお事が大切だと思えます。私は、一問一答をよく行っていました。振り返ると
流れをつかお事がこの時期は、絶対に、大切ですよ。参考書で流れをつかんで下さい。

[2学期～入試直前]

2学期になると、どの科目も、演習問題をたくさん解いていました。解いていく中で、分かって
いない範囲があったら、復習したり寝る前には、英単語や、暗記科目で、基礎も忘れないう
にしています。11月からは、基本的に、センターの過去問や、他大学の過去問を毎日
交互にひたすら解いていました。そのおかげで、同志社女子大学の対策は、スムーズに
行えました。入試直前は、緊張したり、不安になった時もありましたが、今まで
自分がやってきたことを信じ、よく間違えていた問題を振り返ることで落ち着いて
試験に挑めました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は、SNSの見る時間を制限していました。受験期になると、クラスの友達も同じで、
SNSを全然使わなくなるので、正直全然苦ではなかったです。私の学校では、文化祭が
9月にあります。全中で取り組みました。一度しかない文化祭や行事は、メリハリをつけて、
全中で取り組むべきだと思います。受験期の最高の思い出でした。健康面では、何回か体調を壊
す時期もありましたが、早寝早起きや、学校へ休まず行く事が大切だと思えます。友達
に会えず、友達が頑張っていると思うと、頑張る気持ちになれ、気分転換になります。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は、思うようにいかないことを苦しいことか、たくさんあると思えますが、
最後まで諦めずに自分を信じて、後悔せず、受験を終えて下さい。
頑張ってください。応援しています。